News Release

2025 年 10 月

朝日ライフ アセットマネジメント株式会社
Asahi Life Asset Management Co.,Ltd.
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第 301 号
加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

社会貢献活動を行う団体への寄付につきまして

～公募投信「ALAMCO SRI 社会貢献ファンド（愛称：あすのはね）」の寄付のお知らせ～

「あすのはね」では、2000 年９月のファンド設定以来、毎年、地域社会への貢献を目的として、信託報酬の一部を、社会的課題の解決や SDGs（持続可能な開発目標）の達成に取り組む団体へ寄付しております。
今年で 25 回目の寄付となり、10 月 22 日に以下の７団体へ寄付いたしました。

今後も皆様のご期待に応えるようパフォーマンスの向上等に全力で取り組んで行くとともに、社会的課題の解決やＳＤＧｓの達成への貢献に努めてまいります。
引き続き、ご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

（五十音順）

海を通じて、自然との共存を学び、確立します

OWS Research and Education Non-profit organization The Oceanic Wildlife Society

特定非営利活動法人　ＯＷＳ

ＯＷＳは 1998 年に設立した海の環境ＮＰＯ法人です。海の自然と生き物を通して「親しむ・学ぶ・大切さを伝える」活動を推進しています。
現在、主に次の４プロジェクトに取り組み、さまざまな連携や協働を創出し、成果を得ています。
◆海の子プロジェクト：海離れ、自然離れが著しい昨今、自然体験学習を通して子どもたちに海の自然や生き物とのふれあいの機会を創出しています。これまで 3,300 人以上の子どもたちが参加しました。
◆サンゴ調査プロジェクト：研究機関と連携し、温暖化の影響評価のためのサンゴおよび魚類のモニタリング調査や探索調査を毎年全国 10 海域以上で実施しています。
◆海洋ごみプロジェクト：定例ごみ回収活動、写真資料展、出前授業、講演等、毎年 7,000 人以上を対象とする海洋ごみ削減の普及啓発を実施しています。
◆干潟保全プロジェクト：研究者、地元住民や学校等、多様な主体と連携・協力し、希少干潟の保全を進めています。紀伊半島、三浦半島を中心に黒潮流域の各干潟での調査も実施しています。

（左）代表理事　横山 耕作 様

《SDGs 目標》

4 質の高い教育をみんなに	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう
15 陸の豊かさも守ろう	17 パートナーシップで目標を達成しよう	

すべての子どもたちが夢や希望を持てる社会の実現を目指しています

認定特定非営利活動法人　キッズドア

2007 年より、国内の経済的困窮世帯の子どもたちのための無料の学習支援事業を展開しています。小学生から高校生世代までを対象に、東京都を中心に埼玉県、宮城県で活動しています。
2020 年からはオンラインによる学習支援を開始し、全国エリアの子どもたちの支援も行っています。
加えて、外国にルーツのある子どもや不登校の子どもへの支援、都立高校へアウトリーチし校内カフェ、カームルーム運営なども行っています。
また、新型コロナウイルス感染症の流行以降は、保護者支援が緊急で必要になったことから「ファミリーサポート事業部」を立ち上げ、全国の保護者に対する情報支援、食糧支援、就労トレーニングなども行っています。
さらに、2024 年秋からは神戸にて難関大学進学を希望する高校生のための教室を開所しました。また、学習支援やファミリーサポートの登録者からの声をとりまとめ政策提言も行っています。

（左）執行役員　松見 幸太郎 様

《SDGs 目標》

1 貧困をなくそう

4 質の高い教育をみんなに

子どもの虐待防止に取り組む専門の民間相談機関

社会福祉法人　子どもの虐待防止センター

社会福祉法人子どもの虐待防止センターは、主に家庭内で起こる子どもの虐待防止のために取り組む民間の団体です。1991 年から活動を開始し、1997 年に社会福祉法人となりました。当法人では「子どもを虐待から守るためには家族へのサポートが重要である」との認識のもと、子育てに悩む親を対象とした相談事業（電話相談、母親のグループ「ＭＣＧ（母と子の関係を考える会）」）を設立当初より行っています。さらに、ペアレンティングプログラムや医療部門の立ち上げなど活動を広げ、医療、福祉、心理等の専門職と連携しながら多くのボランティアの参加に支えられ活動しています。
虐待は子どもの育ちに大きな影を落とします。同時に家族も経済的な問題やＤＶなど様々な困難を抱えていることが多く、親を責めるだけでは解決しないことを理解することが必要です。皆様のご支援の下で行う私たちの活動を通じて、子どもも親も温かく見守られる社会となるよう願っています。

（左）理事　高田 真規子 様

《SDGs 目標》

1 貧困をなくそう

3 すべての人に健康と福祉を

10 人や国の不平等をなくそう

16 平和と公正をすべての人に

自然環境の復元と、ヒトが心豊かに暮らせる地域社会の創造

認定特定非営利活動法人　自然環境復元協会

多様な生き物と共に暮らす社会を目指し、「身近な自然環境を復元すること」「自然体験を通した豊かな感性と人間力溢れるヒトが育つ場を提供すること」を使命に、日本国内にて主に３つの事業を行っています。

◆ふるさと未来創造プロジェクト

環境系の分野に興味のある大学生や社会人を対象に、自然の中で自分と向き合う合宿型の「環境系学生未来塾」や、環境再生医や一般の方を対象に、屋久島を舞台とした「環境再生の現場」で環境保全活動を体験するワークショップなどを通して、農山漁村の生態系を豊かにすることや、地域の問題解決と活性化を目指しています。

◆環境再生医制度

環境再生医の資格制度を運営しています。「自然環境」と「自然とヒトの関係」の再生を目指すＳＤＧｓ視点の環境人材を育成・支援しています。

◆レンジャーズプロジェクト

若手のボランティア希望者が地域の環境保全団体へお手伝いに行く環境保全ボランティアです。ボランティア希望者が環境活動を始めるきっかけを創出し、高齢化や人手不足などで困っている環境保全団体の課題解決を目指しています。

（左）副理事長　堺 かなえ 様

《SDGs 目標》

2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに
11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を
15 陸の豊かさも守ろう	17 パートナーシップで目標を達成しよう	

災害・紛争などで困難に陥った人びとが尊厳のある暮らしを取り戻し、人と人が対等な関係でつながる世界を目指します

認定特定非営利活動法人　パルシック

パルシックは、民際協力とフェアトレードを中心にアジア地域で活動するＮＧＯです。国と国の協力である「国際協力」ではなく、市民と市民との協力である「民際協力」を掲げ、地球上の各地で暮らす人びとが国境を越えて直接的に助け合うことを大切に活動しています。

能登半島地震の被災者支援では発災直後から、食料・生活必需品などの配布や避難所での温かいコーヒーや紅茶の提供などの活動を実施しました。

また、震災で人と人とのつながりが薄れ、被災者が孤立しつつあったことから、地域を超えた居場所づくりの必要性を感じ、被災により営業を中止していた「能登七見健康福祉の郷なごみ」の一部を町より借り受け、2025 年２月からカフェ、運動施設（ジム）、キッズスペースを備えた「なごみ」の運営を開始しました。施設利用者は月に 500 名程度となっており、様々なイベントのほか、月１回の子ども食堂やフードパントリーも実施し、地域・世代を問わず人々が気軽に立ち寄れ、食やイベントを通して交流する場となっています。

（左）共同代表理事　大野 容子 様

《SDGs 目標》

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	4 質の高い教育をみんなに
5 ジェンダー平等を実現しよう	10 人や国の不平等をなくそう	12 つくる責任つかう責任
15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を達成しよう

「にんしん」をきっかけに、誰もが孤立することなく、自由に幸せに生きることができる社会の実現を目指します

認定特定非営利活動法人　ピッコラーレ

児童虐待死で最も多いのは生まれたその日に命を失うケースです。これは、妊娠の困りごとを誰にも相談できず、一人で抱え込み、社会から孤立したために、母子の安全が守られなかった結果だと考えています。ピッコラーレは、「にんしん」をきっかけに、誰もが孤立することなく、自由に幸せに生きることができる社会の実現を目指して、妊娠にまつわる全ての「困った・どうしよう」に寄り添う妊娠葛藤相談窓口「にんしんＳＯＳ東京」や、居所のない若年妊婦が妊娠期を安心して過ごせる居場所「ぴさら」の運営、地域における包括的性教育の実践「出張ピコの保健室」などの活動を行っています。また、支援員の育成やスキルアップを目的とした研修の開催、「妊娠葛藤白書」の制作・発行（2021 年）、行政府のヒアリング協力・構成委員としての委員会出席などを通して、「妊婦の孤立」を生み出す社会構造の変革を求めて、提言・啓発活動にも積極的に取り組んでいます。

（左）事務局長　小野 晴香 様

《SDGs 目標》

- 1 貧困をなくそう
- 3 すべての人に健康と福祉を
- 4 質の高い教育をみんなに
- 5 ジェンダー平等を実現しよう
- 10 人や国の不平等をなくそう

障害者クライミング普及活動を通じて、多様性を認め合えるユニバーサルな社会の実現を目指しています

特定非営利活動法人　モンキーマジック

「見えない壁だって、越えられる。」をコンセプトに、私たちは国内で 20 年以上にわたり障害者クライミング普及活動を続けています。
障害のある子どもや大人を対象としたクライミングスクールを開講するとともに、障害の有無に関係なく誰もが楽しめる交流型クライミングイベントを定期的に企画・運営しています。また、クライミングを通じた講演会や体験会も積極的に実施しています。
クライミングは、障害の有無に関係なく、同じ場所で同じルールのもと楽しむことができるスポーツです。健常者と障害者が「助ける・助けられる」という一方的な関係ではなく、お互いを理解し合う「クライミング仲間」として壁を取り払うことで、多様性を認め合う価値ある機会を提供しています。
私たちは、障害、年齢、性別、文化の違いを超えて、全ての人が社会の一員として支え合い、安心して暮らせる社会を目指しています。皆が自分らしく生き、持てる力を発揮して元気に暮らせる環境づくりに貢献していきます。

（左）副代表理事　水谷 理 様

《SDGs 目標》

- 3 すべての人に健康と福祉を
- 10 人や国の不平等をなくそう

※上記7団体は、第25期計算期間にかかる金額を寄付させていただいた団体であり、第26期計算期間以降については、上記団体に寄付を行うとは限りません。

ALAMCO SRI 社会貢献ファンド（愛称：あすのはね）の特色

1．国内の上場株式を主要投資対象とし、ビジネスを通じて社会的課題に積極的に取り組み、社会に貢献する企業の株式に投資します。
2．個別企業調査を基本としたボトムアップ・アプローチを重視した銘柄選択を行います。中長期的な視点に立って、価値ある銘柄を安く買い、価値の成熟と株価の上昇を待つ運用を行います。
3．信託報酬の一部を、社会的課題に取り組む団体に寄付します。（寄付の金額は、ファンドの日々の純資産総額に応じて年 0.1～0.2%の率を乗じて得た額とします。）

投資リスク

ファンドは値動きのある有価証券等を投資対象としますので、組入有価証券等の値動きなどの影響により、基準価額が下落することがあります。したがって、投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、これを割り込むことがあります。
ファンドは預貯金と異なります。
信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。

ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「ESG 運用に関するリスク」、「株価変動リスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧下さい。

ファンドの費用

◆投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に 3.3%（税抜 3.0%）を上限として販売会社が個別に定める率を乗じて得た額 ※詳しくは、販売会社へお問い合わせください。
信託財産留保額	換金申込受付日の基準価額に 0.3%の率を乗じて得た額

◆投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）	ファンドの日々の純資産総額に年 1.958%（税抜 1.78%）の率を乗じて得た額
その他の費用・手数料	以下の費用などがファンドから支払われます。これらの費用は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。 ・ファンドの監査費用（ファンドの日々の純資産総額に年 0.0055%（税抜 0.005%）の率を乗じて得た額。ただし年 44 万円（税抜 40 万円）を上限とします。） ・有価証券売買時の売買委託手数料 ・先物・オプション取引等に要する費用

※ファンドの費用（手数料等）の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

左記 QR コードをクリック、または読み取りにより、
当社ホームページのファンド情報をご覧いただけます。

■本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント（以下、「当社」といいます。）が、「ALAMCO SRI 社会貢献ファンド（愛称：あすのはね）」に関する情報提供を目的として作成したものであり、特定の有価証券の勧誘を目的としたものではありません。また、法令に基づく開示資料ではありません。■ファンドは価額変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します（外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。）ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。■本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性をお約束するものではありません。■本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。■ファンドの取得の申し込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので、必ず内容について確認の上、お客様ご自身でご判断ください。■ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。2025-10-1120